



メーカー
管理用です。

TOTO

排水継手

UTR316系(単独排水用)／UTR319系(横引排水用)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。本書に記載の寸法の単位は mm です。

本書とあわせて、各部材に付属の説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。

安全上のご注意 (安全のために必ずお守りください)

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示と意味



注意

傷害や物的損害※が発生する
可能性がある内容です。



必ず実行していただく強制の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

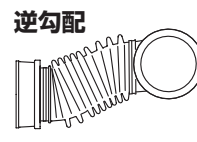
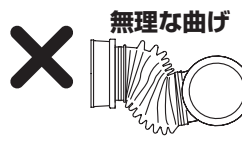
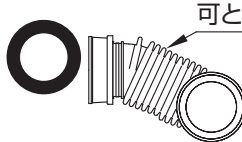
注意



必ず守る

工事完了後、本体が確実に固定されているか
必ず確認する
不完全な取り付けは漏水の原因となり、周辺に損害を
与えるおそれがあります。

可とう部を無理に曲げたり、
逆勾配にならないように接続する
漏水の原因となり、周辺に損害を
与えるおそれがあります。



取付前の注意

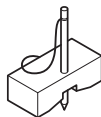
- 本製品は「壁掛大便器セット」または「コンパクト・パリアフリートイレパック」(※UTR316系のみ)の専用品です。
- 壁掛大便器取付スタンド、またはトイレパックの施工説明書もご確認の上、取り付けてください。
- 排水ソケットの上下を間違えないように取り付けてください。(※形状をご確認ください)



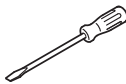
※図はUTR316系

必要工具

※一般水道工事に使う工具以外に、
下記の工具・部材を用意してください。



芯出し水平器



マイナスドライバー
ビットサイズ：#2

マーク表示

手締めで



電動ドライバー
使用禁止です。
手締めしてください。

脱脂



脱脂用アルコール
で脱脂して
ください。

けがき



けがきをして
ください。

内周塗布



塩ビ用接着剤を
塗布してください。
(例：内周塗布の場合)

施工方法

単独排水用

⚠️ 注意



必ず守る

配管(VU・VP75)と継手は硬質塩化ビニル管用接着剤で接着後バンド固定する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

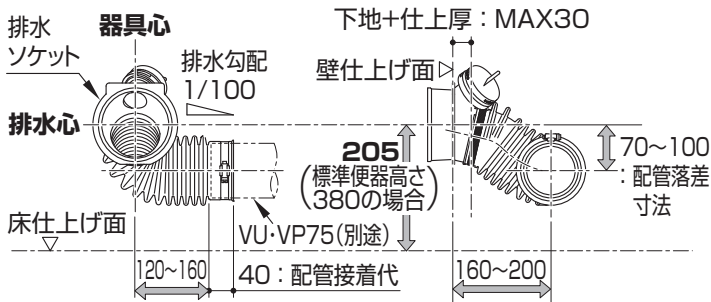
継手を下に振って設置しない
壁掛大便器取付スタンドの固定強度が確保できなくなります。



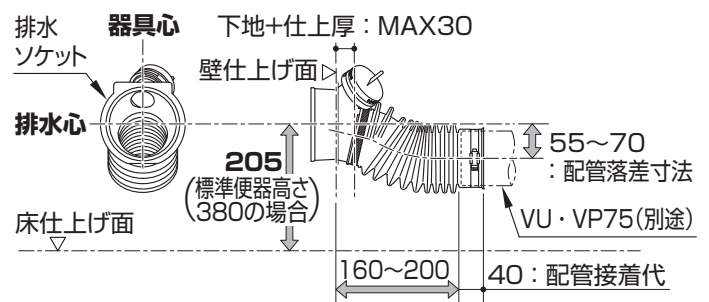
下向き

器具心、排水心を基準に設置可能寸法(矢印範囲)にて配管を取り回し、可とう部末端と接続する

横に振る場合



後ろに振る場合



横引排水用 ※本書は右抜き仕様を説明しております。

器具心、排水心を基準に配管奥行き、配管落差の設置可能寸法(矢印範囲)にて横引配管を取り回し、横引配管と継手部を接続してください。

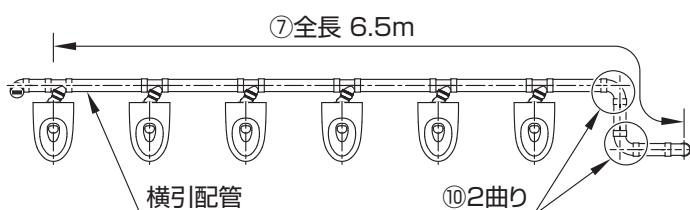
⚠️ 注意



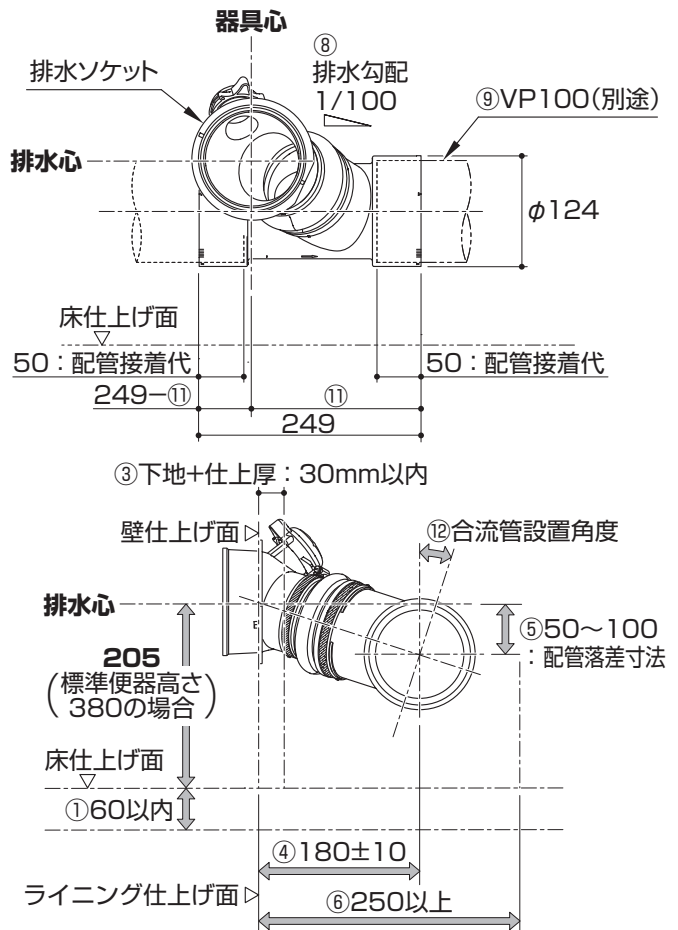
必ず守る

横引配管(VP100)と継手部の接着には硬質塩化ビニル管用接着剤を使用する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

①	SL~FL段差	60mm以内
②	大便器標準高さ	FL~380mm
③	ライニング下地+仕上げ厚	30mm以内
④	ライニング仕上げ面~横引配管: D寸法	180±10mm
⑤	配管落差: H寸法	50~100mm
⑥	ライニング奥行き	250mm以上
⑦	排水管全長	6.5m
⑧	排水管勾配	1/100以上
⑨	排水管仕様	VP100
⑩	排水縦管までの曲がり数	2カ所以内
⑪	器具心~合流管端部の距離: X寸法	183mm、188mm、193mm
⑫	合流管設置角度	配管落差に応じて15.5~28°

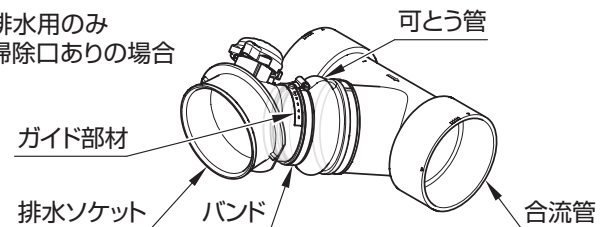


床下に落とすまたは縦管に接続するまで
・水上末端器具からの配管長: 6.5m以内
・その間の曲り: 2曲り以内(大曲がりエルボを推奨)



同梱部品の確認

※横引排水用のみ
※図は掃除口ありの場合



施工方法(つづき)

横引排水用(つづき)

動画を見る

施工の流れ

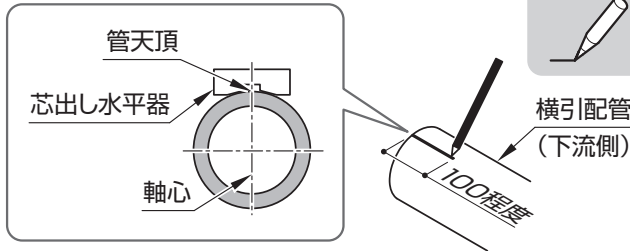
当社のウェブサイトから、施工動画をご確認いただけます。

※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。



① 横引配管(下流側端部の真上)のけがき



けがき



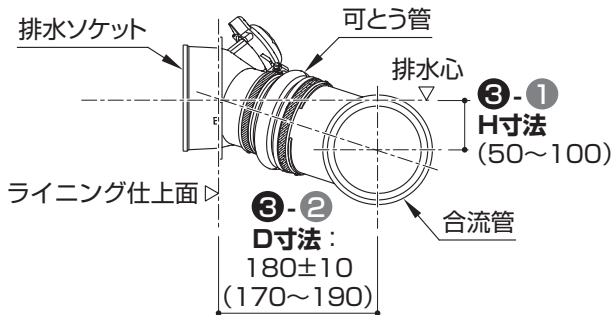
② 横引配管立ち上げ位置の測定 (奥行：D寸法、高さ方向の落差：H寸法)

③ ②をもとにNo.とX寸法を確認

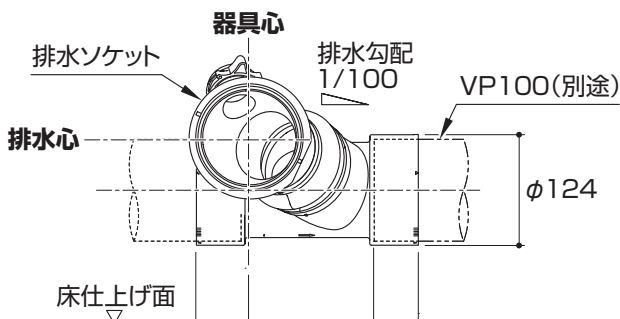
③-① H寸法からNo.を確認する

No.	1	2	3	4	5
H寸法	50~60	61~70	71~80	81~90	91~100

H寸法 mm → No.



③-② D寸法に応じたX寸法であることを確認する (X寸法が異なる場合は横引配管の立ち上げ位置を調整する)



D寸法	X寸法
170~175	183
176~185	188
186~190	193

D寸法 mm → X寸法 mm

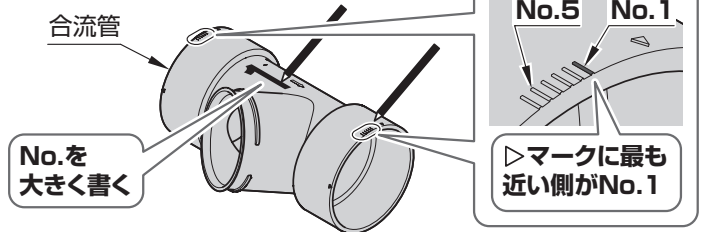
※以降の手順はNo.=1、D寸法=183mmで示す

④ 合流管、ガイド部材、排水ソケット、ソケット押え材のけがき

けがき

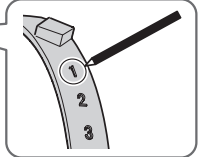


④-① 合流管の目盛りに油性ペンで印を入れ、No.を大きく記入する ※合流管の⇔マークを排水抜き方向に合わせ、上面の目盛りに印をつける



④-② ガイド部材のNo.に油性ペンで印をつける

ガイド部材



④-③ No.とD寸法をもとに排水ソケットの目盛りに油性ペンで2カ所のけがき線を入れる

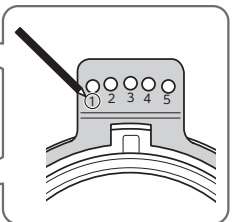
排水ソケット



④-④ ソケット押え板のNo.に油性ペンで印をつける

ソケット押え板

※スタンドに同梱

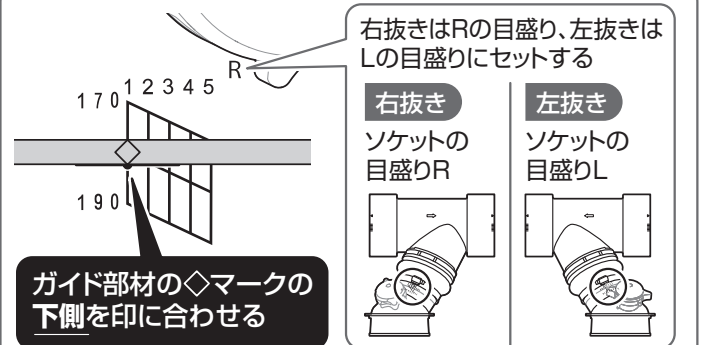
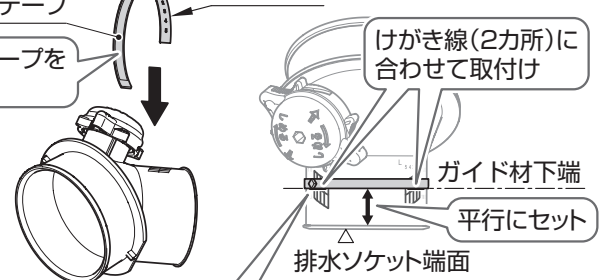


⑤ ガイド部材の取付け

両面テープ

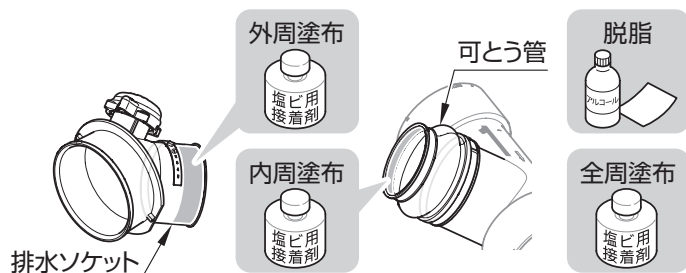
両面テープをはがす

ガイド部材



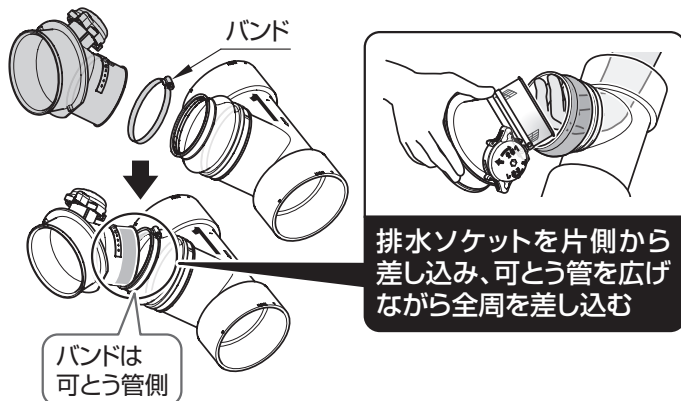
⑥ 排水ソケット、可とう管の接続

⑥-① 脱脂・塩ビ用接着剤を塗布する 全周に十分塗布する



⑥-② バンド・排水ソケットを可とう管に差し込む

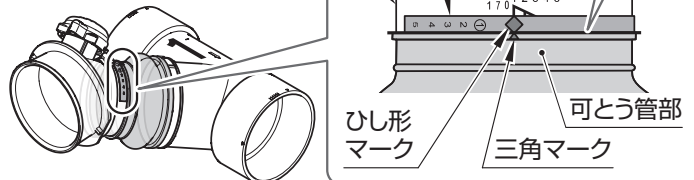
※⑥-①で塗布した接着剤が硬化する前に作業を行うこと



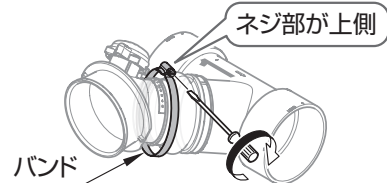
⑥-③ ガイド部材の◇マークと可とう管の◁マークを合わせながら、排水ソケットを差し込む



⑥-④ ガイド部材全周と可とう管にすき間がないことを確認する



⑦ 排水ソケット、可とう管のバンド固定



手締めで



⑧ 合流管、横引配管の接続

⑧-① 脱脂・塩ビ用接着剤を塗布する 全周に十分塗布する

⑧-② 合流管にけがきした目盛りを①のけがき線に合わせて横引配管に接続する



⚠ 注意

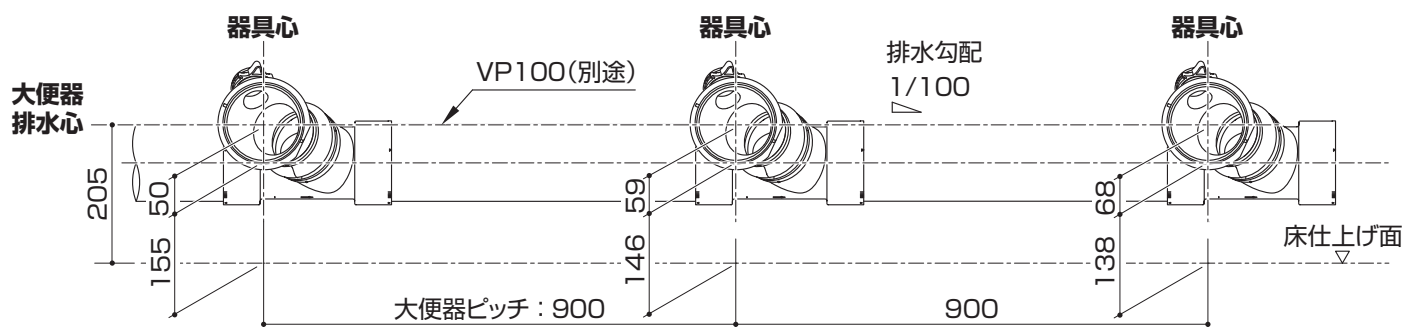


必ず守る

設置可能寸法を守って使用する

無理に差し込み代が確保できない状態で接続すると、漏水の原因となり、周辺に損害を与えるおそれがあります。

配管例(右抜き仕様の場合)



排水継手設置後の注意(単独排水用／横引排水用共通)

- ・壁掛大便器取付スタンドへの排水ソケット部の施工は、壁掛大便器取付スタンドまたはトイレバックの施工説明書を参照ください。
- ・同梱の排水パッキンは大便器取り付け時に使用します。大便器取付時まで、紛失しないように保管ください。
- ・【掃除口ありの場合】
同梱のラベルをライニング内にはり付けてください。
はり付けは大便器セット一式を取り付けた後に点検口開口部より見える位置に行ってください。(推奨位置：タンク支持材表面)

- ・VP50またはVU50配管を下図のように加工したものを、排水継手の口から差し込み、ジャバラ部・可とう管部に干渉することなく奥まで入ることを確認することで、正しく施工できているかを確認できます。

